

アーメンの宣教師

私たち洗礼を受けたすべての人は、神の使命を果たすために召されています。私たち全員が神に召されて、宣教師、宣教者、そして神の言葉を他の人々に証しする者となっているのです。ですから、私たち皆が会計士であろうと、弁護士であろうと、事務員であろうと、医者であろうと、音楽家であろうと、あるいは経営者であろうと、教師であろうと、何であろうと、「良い知らせを宣べ伝え、癒し、教え、証しするため」、つまり伝道するために送り出されているのです。そして、その使命を果たす前に、私たちはまず信者にならなければならない、つまり、アーメンの男と女にならなければならない、と私は考えています。

今日は、「アーメン」という言葉の意味について少し分かち合いしたいと思います。私たちは、いつも祈りの最後に「アーメン」と言って、祈りを締めくくります。そしてごミサの中で、私たちは10回以上、アーメンと言います。さて、ミサの中で私たちが唱える、答えることのできる唯一の応答は「アーメン」ですね。

アーメンという言葉は、旧約聖書が書かれたヘブライ語の「アマン」から来ています。**Aman**という言葉は、安定と安心を意味しています。しっかりとした土台の上に立つことで得られるもの... 神こそ確かな土台を託すことができる岩のような安心感があります。信仰を持つということは、神に寄り添い、神に人生を委ね、神の教えを信頼することです。

私たちの人生は彼に依存しており、彼の言うことを信頼しています。特定の祈りの最後に「アーメン」と言うことで、司祭や集会全体が言ったことに同意することを表します。真実のアーメンを発音するためには、司祭の言葉に注意深く従わなければなりません。そうしないと、意味のない言葉を言う危険があります。アーメンとは拍手のことで、確信を持って言う言葉であり、抽象的に言う言葉ではありません。だからこそ、自信を持って声に出し、言いたいことを考えなければならないのです。私たちは、イエス様を心から信じ、信頼するアーメンの宣教師となりましょう。

